

授業科目名	言葉の理解(2100112)		
時間割名	言葉の理解(13111)		
時間割担当	伊崎一夫		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	月・3		

授業の目標・概要

言語能力を高めることは、人間としての能力、人間性を高めることにつながる。ここでは、言語の性質や働き、形式等の認識を深め、表現、理解を中心とした言語能力を高めることを追究する。日本語の特性としての、言語、音韻、文字、さらに 語彙、構文、文法、方言 について理解を図り、その歴史性や法則性、言語現象などを具体的に見極め、言語に対する認識を深めていく。低学年の書写硬筆、中高学年の書写毛筆の意義及び演習について理解を深める。

学習の到達目標

- ・ 言語、音韻、文字、語彙、構文、文法、方言等 国語（日本語）の特徴を理解し、認識を深める。
- ・ 自らの言語生活をふりかえり国語を尊重する態度を身につける。
- ・ 児童の指導に役立てる基本知識と表現力を身につける。

授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 言葉の発達について
言葉の獲得と発達について概要を理解する。
- 第2回 日本語の特徴について
言語と文化、音声、音韻、アクセントについて理解する。
- 第3回 漢字の生成
文字の種類や漢字の成立、仮名表記、補助符号などについて理解する。
- 第4回 仮名表記の特徴
日本語の特性としての仮名書きについて理解する。
- 第5回 語彙について
語彙の系統と構成、位相語についてまとめ、理解する。
- 第6回 文法の基礎
文の種類と定義、成文と構造について理解する。
- 第7回 文の構成について(1)
生活の中で使われている文章につかわれている文の構成について調べ、まとめる。
- 第8回 文の構成について(2)
主語・述語・修飾語などの関係を理解し、その活用について理解する。
- 第9回 辞と陳述
助動詞、助詞について、体言、用言との関係を明らかにしながら理解する。
- 第10回 敬語について
敬語についての歴史や待遇表現について学び、敬語の種類に応じた使い方をまとめる。
- 第11回 方言・強調表現、流行語などについて
方言の特徴や共通語の利便性など地方色の活かし方をまとめ強調表現や流行語について理解する。
- 第12回 言語技術教育について
小学校における身に付けさせるべき言語技術について理解する。
- 第13回 書写硬筆
ひらがなの筆順、かたかなの筆順、字のバランス等を理解する。
- 第14回 書写毛筆
毛筆書写の必要性について考え、学習に必要な用具についての理解を深める。
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(30%)
さらに、学習記録ノート(学生作成)の緻密さなどを評価する。(30%)さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(40%)

授業時間外の課題

- 1.各講義における課題をシラバスで理解し、中高の教科書や副読本などを活用して復習しておく。
- 2.各講義後に学んだ言葉に関する理解をまとめておく。
- 3.現代教育課題に関心を持っておくこと。

メッセージ

教材・教科書

授業の際に必要なに応じて提示する。

参考書

學習指導要領解説 国語編，教育漢字表，漢字辞書